



ごみの減量成果

～一人ひとりの小さな実践が大きな成果に～

市では、豊岡市環境基本計画の中で、平成28年度までのごみ減量の目標数値を掲げていたが、早くも平成20年度で目標数値を上回る減量を達成した。

平成21年度はさらに減量となり、豊岡清掃センター開設以来最少のごみ量となった。

1. ごみ減量の取組み経緯

豊岡清掃センター（旧北但清掃センター）を開設した平成2年度以降、清掃センターへ持込まれるごみ量は年々増え続け、平成12年度にピークを迎えた。

そこで旧豊岡市では、平成12年度を基準年度として、20%のごみ減量に取り組んできた。

新豊岡市もこれを継承し、平成19年4月に豊岡市環境基本計画を策定し、平成28年度を達成年度として、25%のごみ減量目標を掲げ、ごみの減量に努めてきた。

2. 平成12年度以降のごみ量の推移

平成12年度の42,917tを基準として、平成28年度までに25%（10,729t）のごみ減量目標を掲げていたが、平成20年度で早くも31.4%（13,469t）減量を達成し、ごみ総量は29,448tであった。

平成21年度は、さらに減り、33.9%（14,543t）の減量、ごみ総量は28,374tとなった。なお、1人当たりのごみ量で比較すると、平成12年度は450kgだったが、平成21年度は318kgになり、29.3%（132kg）減っている。

（単位：t）

区分	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	
ごみ総量 + =	42,917	40,549	37,091	38,409	37,019	36,886	36,150	32,610	29,448	28,374	33.9%減
12年度比	100%	94.5%	86.4%	89.5%	86.3%	85.9%	84.2%	76.0%	68.6%	66.1%	
生活ごみ	25,874	25,143	21,754	21,984	20,218	17,715	17,691	17,080	16,441	16,059	37.9%減
12年度比	100%	97.2%	84.1%	85.0%	78.1%	68.5%	68.4%	66.0%	63.5%	62.1%	
事業ごみ	17,042	15,406	15,337	16,425	16,801	19,171	18,459	15,530	13,007	12,315	27.7%減
木くず (/)	-	-	1,217 (8%)	2,429 (15%)	2,562 (15%)	2,540 (13%)	1,685 (9%)	1,344 (9%)	921 (7%)	720 (6%)	
12年度比	100%	90.4%	90.0%	96.4%	98.6%	112.5%	108.3%	91.1%	76.3%	72.3%	

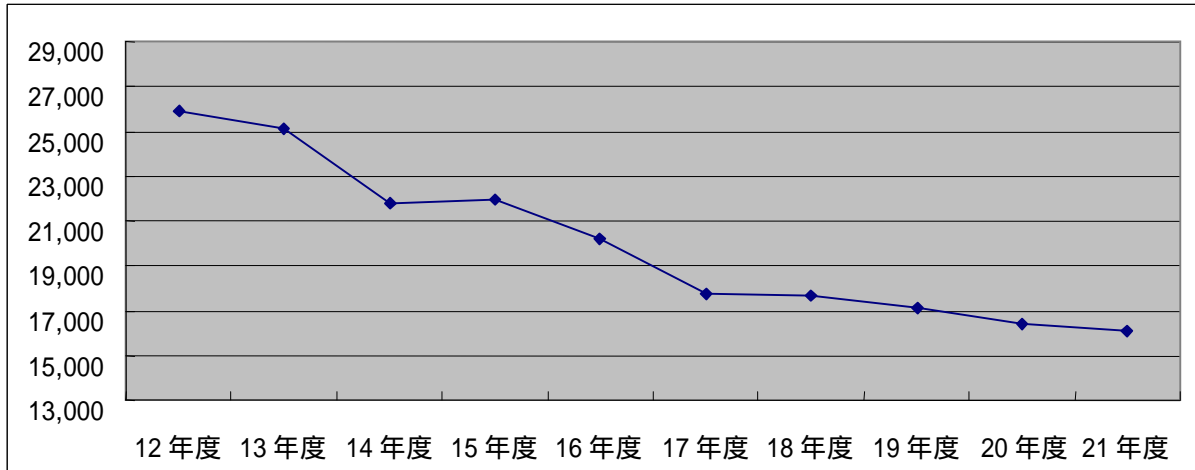
平成16年度、17年度分は、平成16年の台風23号に伴う災害廃棄物を除いた量



豊岡清掃センターに持込まれるごみは「生活ごみ」と「事業ごみ」に分類される。

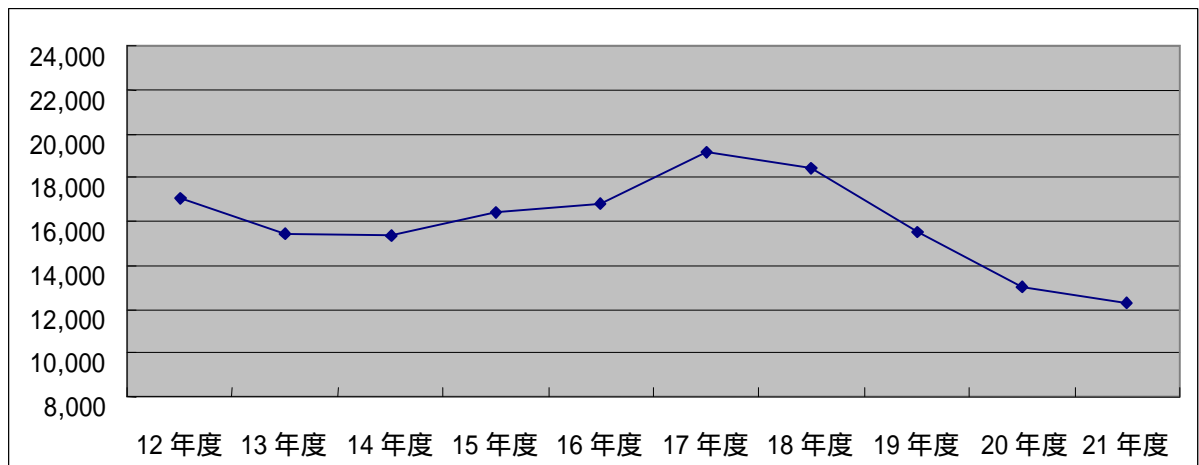
生活ごみ

容器包装類の分別を開始した平成14年度と旧豊岡市で有料化を実施した直後の平成16・17年度に大きく減少している。(各旧町は、平成12年度より前に有料化実施)



事業ごみ

豊岡市周辺に民間の受入施設が少ないことから、豊岡清掃センターに集中しがちであるが、平成19・20年度に大きく減っているのは、平成19年10月から実施した不適正廃棄物の持込検査の強化と建築廃棄物の減少の影響が大きいと考えられる。



3. ごみ減量の要因

ごみの減量は、以下の取組みの継続と社会情勢の変化によるものと考えられる。

清掃センターにおける不適正廃棄物持込み検査の徹底(H19.10月から実施)

市内の事業所訪問による事業ごみ減量キャンペーンの効果(H17・18年に実施)

ごみ減量の周知啓発による市民意識の向上

住宅建築件数の減少に伴う、解体廃棄物〔木くず〕の減少

建築確認申請数

平成18年度:651件、平成19年度:488件、平成20年度:395件、平成21年度:336件

景気悪化に伴う消費の減少と人口の減少



4. 今後の取組み

廃棄物の発生抑制と廃棄物の適正な処分を行い、循環型社会の実現に努める。

住宅エコポイント制度や景気の動向などによってごみ量がリバウンドしないよう、ごみ減量の啓発活動を展開

不適正廃棄物の持込検査を徹底

資源ごみの分別を徹底し、3R〔リデュース(減量)、リユース(再利用)、リサイクル(再資源化)〕を推進

〔問合せ〕 市民生活部生活環境課 0796 - 23 - 5304